

第七小学校運動会

平成27年5月23日(土)、青空の下、第七小学校運動会を実施いたしました。1・2年生は団体演技「シーシーゴンゴン」に、3・4年生は団体演技「ワイルド アット ハート」に、5・6年生は団体演技「七小ソーラン2015」に取り組みました。



今年度は、白組の優勝、赤組の準優勝となりましたが、どちらも最後まで全力で頑張りました。応援してくださいました皆様、ありがとうございました。

(中嶋 太)

富岡1丁目 堰普請(せきぶしん)

平成27年4月29日(祝)、富岡1丁目の乙黒耕地で、堰普請が行われました。堰普請は、水路を管理する地元組合のみなさんが、自分達で今年の水路を確保するために、近くの山から切り出した竹などの材料で成木川から取水する堰を作るもの。大雨が降った時には、安全のため壊れるよう簡易的な作りになっています。台風は何度も見舞われた年は3回、4回と堰普請をすることもあるそうです。

今年は若者の新規就農希望者7名も加わって人員も増し、1時間ほどできれいな堰ができました。新規就農は、富岡1丁目と小曾木4丁目の農地で行う予定とのことです。若い彼らは自然に恵まれた小曾木地区に魅力を感じ、この地に住居も探しています。みなさん今後の活躍に期待して応援してください。



小曾木リサイクル協会の紹介

● 小曾木リサイクル協会とは
小曾木地域で資源回収を実施する団体の事務局として、青梅市への登録申請、報償金請求などを行なっています。資源回収に特化した活動をしている、青梅市で唯一の団体です。

● 資源回収に参加している団体は？
現在は、七小PTA、六中PTA、六中生徒会、子供会、自治会が中心となっていて、その他にもソフトボールチームなどが参加しています。全部で25団体が資源回収を行なっています。

● 協会の目的は？
私たちの地球上にある限られた資源を守るため、小曾木地区の家庭から出される再利用可能な廃棄物を回収し、資源の有効利用を促進することにより、物の大切さを認識して、環境美化運動の推進ならびに協会会員団体の活動資金の充実を計ることを目的としています。

● なんで資源回収のとりまとめをしているの？
青梅市では、資源回収を実施する団体に、集めた資源の量に応じて「報償金」を支給しています。この報償

金を受け取るには、市へ団体登録したり、資源回収毎に報償金請求したりと、煩わしい手続きが必要です。それらを協会がまとめて行なう事で、各団体は資源回収だけに集中して、取り組む事ができるのです。また、年間を通じて資源回収を10回以上実施した団体に、その年の報償金の総額に10%~12%を掛けた額を市が交付してくれます。したがって、協会が小曾木地区の団体を取りまとめることで、小曾木地区での実施回数が10回以上となり、どの団体でも特別報償金を受け取れるというメリットがあるのです。

● どのくらいの成果があるの？

平成26年度は、全体で約150万円の報償金と約15万円の特別報償金を受け取ることが出来ました。

● 資源回収を実施する団体を募集しています
子供の人数の減少により、活動が出来なくなる子供会も出てきています。そこで、子供会が行なう資源回収に、お手伝いいただける方がいらっしゃれば、各地区子供会役員もしくは、七小PTAに申し出てください。また資源回収で運営資金を増やしたいという団体も募集しています。よろしくお願いします。

(小曾木リサイクル協会平成26年度会長藤井徹)